

一般の安全情報

死亡事故や重傷を避けるため、ストーブを使用する前に必ずこのマニュアルの警告と手順をすべて読んで理解し、それに従ってください。

このストーブは、アウトドアでの調理を目的とした軽量コンパクトな器具です。アウトドアでの調理に関するより詳しい情報については、お近くのアウトドアショップに相談してください。アウトドアレジャーを楽しむには、その前に資格を持つ専門家のアドバイスを受けてください。

使用者には、自分自身の安全および自分のグループの人たちの安全に対する責任があります。このマニュアルは、使用者の適切な判断に任せるものではありません。

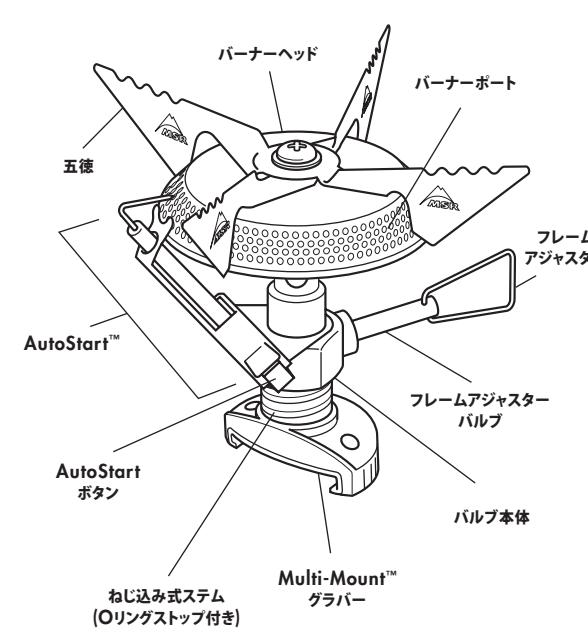
燃料キャニスターの安全性

このストーブは、非常に燃えやすく爆発しやすい液体高圧ガス (LPG) キャニスターを使用します EN 417 規格 (4 オンス/113g または 8 オンス/227g) に認定されている MSR® 高品質キャニスター燃料、またはブタン 70% / プロパン 30% の混合燃料、またはイソブタン 80% / プロパン 20% の混合燃料を使用してください。どの燃料キャニスターの場合も、次の安全情報を従ってください。

- ガス漏れは音とおりで確認してください。ガス漏れは非常に危険です。LPG 自体は無色・無臭で、添加されている強い臭気も、時間の経過とともに薄れることができます。において必ずガス漏れが発見できるとは限りません。ガス漏れ、破裂、または適切に操作しない場合は、ストーブを使用しないでください。
- ストーブと燃料キャニスターがしっかりと安全に接続されることを確認してください。接続がしっかりとしていないように見えたり感じたりした場合や、ガス漏れの音やにおいがしたときは、ストーブやキャニスターの使用を停止してください。ストーブを発火源から離れて換気のよい場所に移して、ガス漏れの場所を確認し、漏れを止めてください。石鹼水を使用して、屋外でのみガス漏れを点検してください。火を使用してガス漏れを点検しようとしてください。
- キャニスターの交換をするときは、必ず屋外で人から離れて行ってください。
- 8 オンス (227g) 以上の燃料キャニスター、または、4 インチ (10.2 cm) 以上の高さのキャニスターを使用しないでください。キャニスターが大きすぎるとストーブの安定が悪くなります。
- 新しい燃料キャニスターをストーブに接続する前にシールを確認してください。シールが破損、または磨耗している場合は、ストーブを使用しないでください。
- ストーブや燃料は他の熱源の近くに保管しないでください。燃料キャニスターが高温にさらされると、キャニスターが爆発またはガス漏れし、死亡や重大なやけどを負う可能性があります。
- 燃料キャニスターに書かれている使用と保管に関するすべての警告に従ってください。

MSR® SUPERFLY™ ストーブについて知りましょう。

ストーブと燃料キャニスターを接続する前に、SuperFly ストーブの各部分についてよく理解し、以下の指示に従ってください。マニュアルに記述された以外の方法でストーブを使わないでください。

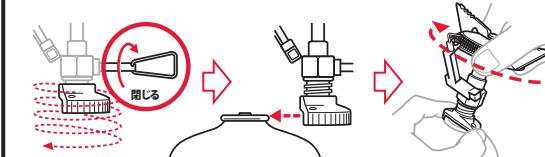


SUPERFLY™ ストーブ操作手順

1 ストーブとキャニスターの接続

SuperFly ストーブは Multi-Mount™ 技術を使用しているので、燃料キャニスターへの取り付け方が他のストーブとは異なっています。

- フレームアジャスターを開きます。
- フレームアジャスターバルブを閉じます。
- ねじ込み式システムの底部に Multi-Mount グラバーをはめ込みます。
- キャニスターの口の淵に Multi-Mount グラバーをスライドさせます。
- Multi-Mount グラバーをしっかりと持ち、しっかりと接続するまで指でストーブを締めます。



警告

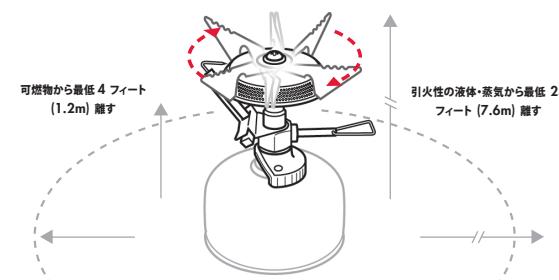
ストーブに燃料キャニスターをきつ接続しないでください。きつ接続しきると、ストーブが破損したり、キャニスターが燃料漏れる可能性があります。燃料漏れすると、火事、やけど、重傷または死亡事故を引き起こす可能性があります。

氷点下の状態でストーブを使用する場合は、細心の注意を払ってください。氷点下では、オリングが硬くなり、燃料が漏る可能性があります。ストーブに点火する前後は、燃料が漏れていないか常に確認してください。燃料漏れしているストーブを使用すると、火事、やけど、重傷、または死に至る可能性があります。ストーブと燃料のそばに小さな子供を近づけないでください。Cascade Designs, Inc. は、10 フィート (3 メートル強) 以上遠ざけることをお勧めします。燃焼中のストーブや熱いストーブのそばから絶対に離れないでください。ストーブを放置すると、火事になる可能性があり、子供、ベット、ストーブに気が付かない人がやけどまたは怪我を負ったり死に至る可能性があります。

2 ストーブのセットアップ

- 調理エリアには、可燃物や引火性液体・蒸気を置かないでください。
- ストーブは表面が平らで安定した場所に置いてください。
- 5 徒歩を回して、全開させます。

五徳は AutoStart に触れてはなりません。



警告

可燃性の物質は、燃焼しているストーブまたは点火しようとしているストーブの上部および周辺から少なくとも 4 フィート (1.2 メートル) 離してください。引火性液体と可燃性蒸気は、燃焼しているストーブまたは点火しようとしているストーブの上部および周辺から少なくとも 25 フィート (7.6 メートル) 離してください。このストーブは可燃性物質、引火性液体、可燃性蒸気に点火することができ、火事、やけど、重傷、または死に至るような状況を引き起こします。

フレームアジャスターバルブが開いたままになっている場合は、ストーブを点火しようとしないでください。フレームアジャスターバルブが開いたままになっている場合は、バルブをすぐに閉じて完全に換気をしながら、ストーブに点火してください。換気を怠ると、爆発を引き起こし、火事、やけど、重傷または死亡に至る場合があります。

3 ストーブの点火

- フレームアジャスターバルブを開き (1/4 回転) 燃料を噴出させます。
- 燃料がバーナーヘッドに流れ込む際のシューという音を確認してください。

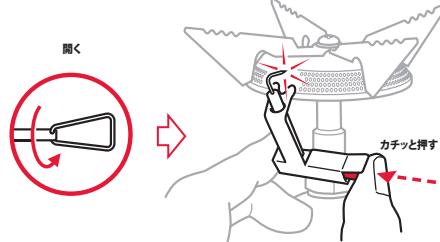
2. AutoStart ボタンを押すやく押して燃料に点火します。

燃料に点火するまで何度も押す必要があるかもしれません。

3. フレームアジャスターバルブを回転させて、炎の大きさを調節します。

正しい炎の色は青色です。

注記: AutoStart を使わずに燃料に点火するには、火のついたマッチかライターをバーナー ポートに近づけ、フレームアジャスター バルブをゆっくりと開けます。



警告

ストーブの点火中、または燃焼中に、頭や体がストーブの上にこないようにしてください。ストーブは直火なので、頭や体をストーブの上に置くことは、火事、やけど、重傷、または死亡事故を引き起こす可能性のある危険な行為です。

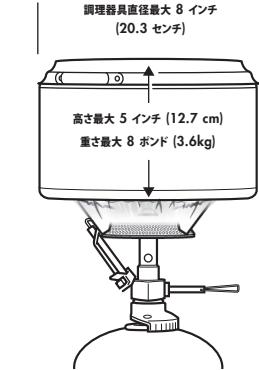
4 ストーブを使って調理する

- 調理器具に食品や液体を入れます。
- 調理器具をストーブの中央に置きます。
- フレームアジャスター バルブを回転させて温度を調整します。



警告

熱いストーブや燃焼しているストーブを移動しないでください。移動する前には、いつもストーブの火を消し、少なくとも 5 分間冷めます。熱いストーブや燃焼しているストーブを移動すると、火事、やけど、重傷または死亡事故を引き起こす可能性があります。直径 8 インチ (20.3cm) 以上の Outback Oven™ や調理器具を使用しないでください。2 つ以上のストーブを同時に置いて、使用しないでください。空の鍋または乾いた鍋をストーブで使用しないでください。MSR® 以外の熱反射板またはデフューザーを使用しないでください。ストーブを間違った方法で使用すると、燃料キャニスターが爆発し、火事、やけど、重傷または死亡事故を引き起こす可能性があります。ストーブに全くサイズの合わない、または不適切な調理器具を使用しないでください。特に五徳は、ストーブに適切なものを使用してください。(例: 凸型または凹型の底の調理器具、ホールー調理器具など)。全く合わない、または不適切な調理器具でストーブを使用すると、調理器具/ストーブが不安定になり、熱い調理器具またはその調理器具の中身が地面に落ちる状況になり、そこで火事、やけど、重傷、死亡事故を引き起こす可能性があります。

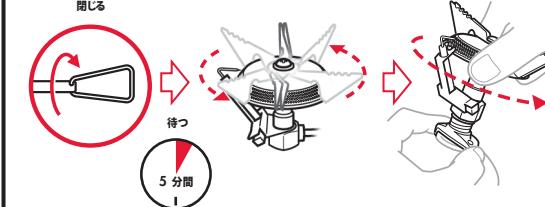


5 ストーブの消火

- 調理が終わったらフレームアジャスター バルブを閉じます。
- 炎が消えた後、ストーブが冷めるまで 5 分間待ってください。
- フレームアジャスターを締めます。
- 5 徒歩を閉じます。
- ストーブ組立部品を発火源から離れます。

Multi-Mount グラバーをしっかりと持ち、キャニスターからストーブを外します。ストーブを取り外すときに、少量のガスが抜ける場合があります。

キャニスターの中の燃料が完全に空の場合は、各地域で規定されている適切な処分方法に従って処分してください。



警告

ストーブを保管するときは、必ずキャニスターをはずしてください。保管前にストーブを外すことを怠ると、燃料が漏れ、火事、やけど、重傷、あるいは死亡事故を引き起こす場合があります。常に燃料キャニスターは、換気の良いところに保管し、熱源、または発火源になるような以下の場所から離れます。温水器、ストーブ、バイロットライト、ヒーター、または 120°F (49°C) 以上の気温にある場所。熱源または発火源、120°F (49°C) 以上の気温にある場所に燃料キャニスターを保管すると、キャニスターが爆発し、火事、やけど、重傷、死亡事故を引き起こす可能性があります。

トラブルシューティング

問題

性能の問題	原因	処置
炎が弱い	燃料が少ない	キャニスターを交換する
ストーブが点火しない	キャニスターが冷たい	別のキャニスターを使用する
風が強い	岩かけなどの自然障害物でストーブを風から守る	
キャニスターが空		キャニスターを交換する
AutoStart の故障	電極を曲げてバーナーポートに近づける (3/16 インチ/4.8mm 以内)	
火のついたマッチかライターをバーナーポートに近づけ、フレームアジャスター バルブをゆっくりと開く。	AutoStart を交換する。	

ストーブに対するサービスは Cascade Designs, Inc. から認定された人物によって行われなければなりません。このマニュアルの説明やストーブ、交換部品、修理についてのご質問は、以下までご連絡ください。

Cascade Designs, Inc., アメリカ合衆国 - 1-800-531-9531 または 206-505-9500

Cascade Designs, Ltd., アイルランド - (+353) 21-4621400

www.msrGear.com info@casadedesigns.com